

解 答 速 報

近畿大学医学部(前期) 英語

2025年1月26日実施

1	2	3	4	5	6	7	8
イ	エ	イ	エ	ウ	ア	イ	ア
9	10	11	12	13	14	15	
イ	ウ	イ	エ	ウ	エ	ウ	
16	17	18	19	20	21	22	23
エ	オ	オ	ア	エ	イ	イ	ウ
24	25	26	27	28	29	30	31
オ	ア	ウ	イ	エ	ア	オ	ウ
32	33	34	35	36	37	38	39
ア	エ	イ	オ	エ	イ	オ	ア

A~C 文法・語法・語彙

(A) 「次の文を最も適した語句を用いて完成させなさい」

(1) イ <go out of one's way to do ~> 「わざわざ~する, 回り道して~する」

Knowing how much I love books, my friend went out of his way to find a rare edition of my favorite novel as a birthday gift.

「私がどれほどの本好きか知っているのです, その友人は誕生日プレゼントに私のお気に入りの小説の希少版をわざわざ見つけてくれた」

(2) エ <bring about ~> 「~をもたらす, 引き起こす」

A: "Have you heard about the new environmental regulations?"

B: "Yes, I have. The government believes that they will bring about a significant reduction in pollution levels."

「あなたは新しい環境規制について聞いたことがありますか」

「はい, あります。政府はこれらの規制が汚染レベルの大幅な減少をもたらすと考えています」

(3) イ <entrust A with B> 「AにBを任せる, 委ねる」

The manager entrusted the most experienced team with the project.

「主任は最も経験豊富なチームにそのプロジェクトを任せた」

(4) エ <attribute A to B> 「AをBに帰す, AをBのおかげだとする」

He attributes his success to his supportive family and hard work.

「彼は自分の成功を, 協力的な家族と自らの懸命な取り組みのおかげだと考えている」

- (B) 「下線部を引いた単語と最も意味の近い答えを選びなさい」
- (5) ウ <at the expense of ~> 「~を犠牲にして」
「その会社は利益を伸ばしたが、社員の士気を犠牲にすることによってそれができたのだ」
- (6) ア <speak to ~> 「~に話す、話しかける」
「主任はプロジェクトの期限について彼のチームに話した」
- (C) 「以下の各段落を、最も適切な語句を補って完成させなさい」
- (7) イ “~ a tribute to the legacy and treasure of this agricultural asset.”
「~この農業資源という遺産と宝物への賛辞」
それぞれの選択肢は、ア soil 「土壌」 イ asset 「資源、資産」 ウ model 「模範」 エ application 「適用」
- (8) ア “Mexico is home to the most genetically diverse repository of corn in the world, ~”
「メキシコは世界で最も遺伝的に多様なトウモロコシの貯蔵所であり、~」
それぞれの選択肢は、ア diverse 「多様な」 イ standard 「基準」 ウ accessible 「アクセス可能な」 エ specialized 「専門化された」
- (9) イ “What began as a wild grass called teosinte nearly 10,000 years ago in present-day Mexico has evolved through millennia of domestication and selective breeding to yield the corn that we know today.”
「およそ1万年前、現在のメキシコでテオシンテと呼ばれる野生の草として始まったトウモロコシは、数千年にわたる栽培化と選択的交配を通じて進化し、私たちが今日知っているトウモロコシを生み出した」
それぞれの選択肢は、ア faded 「色あせた」 イ evolved 「進化した」 ウ presented 「提示された」 エ established 「設立された」
- (10) ウ “but mammals survived and quickly took over.”
「だが、哺乳動物は生き残り、すぐに（恐竜の地位を）引き継いだ」
それぞれの選択肢は、ア (take) away 「取り除く」 イ (take) down 「降ろす」 ウ (take) over 「引き継ぐ」 エ (take) along 「連れていく」
- (11) ウ “we actually know very little about the mammals that endured the extinction ~”
「私たちは、絶滅に耐えた哺乳動物について実はほとんど知らない」
それぞれの選択肢は、ア caused 「~を引き起こした」 イ endured 「~に耐えた」 ウ prevented 「~を防いだ」 エ facilitated 「~を容易にした」
- (12) エ “and persevered during the next 10 million years, during the Paleocene epoch.”
「そして次の暁新世の1000万年の間、持ちこたえた」
それぞれの選択肢は、ア preceded 「~に先行した」 イ perceived 「~を知覚した」 ウ preserved 「~を保存した」 エ persevered 「~に耐えた」
- (13) ウ “how did they set the foundation for the more than 6,000 species of placental mammals that thrive today, from the aerial bats to the aquatic whales to humans?”
「それらはどのようにして、空を飛ぶコウモリから水に棲むクジラや人類まで、今日繫栄している6,000種以上の胎盤性哺乳動物にとっての基礎を作ったのだろうか」
それぞれの選択肢は、ア enable 「可能にする」 イ perish 「滅びる」 ウ thrive 「繫栄する」 エ mediate 「仲介する」

- (14) エ “Japan’s commitment to developing the use of hydrogen as an energy source, ~”
 (15) ウ “the fact that the country accounted for an estimated 24% of all hydrogen-related plant applications filed between 2011 and 2022.”

「日本が、水素をエネルギー源として利用する方法を開発することに熱心に取り組む、この分野で世界的リーダーとして行動するという野心を大きくしていることは、2011年から2022年の間に提出された水素関連プラント申請の24%を日本が占めたと推定される事実からも見て取れる」

(14)のそれぞれの選択肢は、ア committee 「委員会」 イ commodity 「商品」 ウ commission 「手数料」 エ commitment 「献身, 傾倒 / 委託 / 約束, 義務」

(15)については、<account for > で「~を占める」という意味である。

D, E 長文

- (D) 「本文中の下線を引いた単語を見つけ、代わりに用いることができるものとして最も適当なものを選びなさい」

- (16) 「第1段落(P1)の synthetic に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はエ。simulated は「模造の, シミュレートされた」という意味。下線部を含む1文の意味は『ディープフェイク』は、合成メディアを指し、人工知能(AI)技術によって生成された、現実には存在しないものや、起こったことのない出来事を描写する、画像、動画、音声が含まれる」である。下線部を含む1文のAIによって生成されたという説明から、選択できる。

- (17) 「第2段落(P2)の demean に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はオ。humiliate~ は「~に恥をかかせる, ~に屈辱を与える」という意味。下線部を含む1文の意味は「ディープフェイクは、人を貶めたり, 威圧したり, 嫌がらせをする目的で使用されており, 著名人や政治家, 経営者層だけでなく, 一般市民も同様に標的とされている」である。並列されている動詞のうち, intimidate 「~を威圧する」は難しいだろうが, harass 「~に嫌がらせをする」は, ハラスメントからの連想でもわかるため, 同じく相手に不利益を与える単語を選択できる。

- (18) 「第4段落(P4)の emerged に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はオ。materialize は「現れる, 具現化する」という意味。下線部を含む1文の意味は「しかし, ディープフェイクには, 一部, 前向きな利用法も出現している」である。release や uncover は他動詞のため, 自動詞である emerge の代替としては使用できない。materialize は, 形容詞の material 「有形の, 実体のある」から類推し, 選択できる。

- (E) 「次の各設問に対する解答として最も適当なものを選びなさい」

- (19) 「本文によると, どのような組み合わせの科学技術がディープフェイクの制作にとって重要となるか」

正解はア「画像生成と検知」。“Deepfakes are produced ~”から始まる第2段落第1文に着目したい。問題文の“the creation of deepfakes”と意味内容が重なることから, 解答の根拠になると予想する。その1文のおよその意味は「ディープフェイクは2つの異なったAIのディープラーニングアルゴリズムを用いて作られる。一つは本物の画像や映像の可能な限り最良の複製を生み出すアルゴリズムと, もう一つはその複製が偽物であるかどうかを検知するアルゴリズムであり~」である。ここから, 答えとなるものは本物の画像や映像の複製の制作とその検知によって構成される科学技術の組み合わせであるとわかる。よってアが正解である。

- (20) 「本文によると, 第二のAIアルゴリズムのフィードバックメカニズムはどのような方法でディープフェイクの制作過程に影響を及ぼすか」

正解はエ「それは捏造された映像を本物のものに見えるまで微調整をする」。第2のアルゴリズムに関して言及されているのは, 第2段落第2文である。そのおよその意味は,

「第1のアルゴリズムは、合成映像を生み出して、第2のアルゴリズムからそれに関するフィードバックを受けて、その映像をより本物にみえるようにする。そのプロセスは第2のアルゴリズムがどんな偽物の画像を検知しないところまで必要な回数反復される」である。この後半部分を回答の根拠にするとエが正解だとわかる。fine-tune は「～を微調整する」の意味である。

- (21) 「本文によると、ディープフェイクによって引き起こされる潜在的な害悪を説明しているのは以下のどれか」

正解はイ「それらは、個人を貶め苦しめるために使われることができるかもしれない」。第3段落第3文が根拠となる。そのおよその意味は、「ディープフェイクは、人の品位を傷つけ、相手に恐怖心を与え、悩ませるために使われてきて～」である。

- (22) 「本文によると、ディープフェイクの技術はどのようにして教育実践にとって有効である可能性があるか」

正解はイ「歴史的な出来事の臨場感のある経験を提供することによって」。第5段落第2文が根拠となる。その1文の意味は「教育者は、歴史的な演説のディープフェイクを用いて学生が没入でき、引き込む授業を提供することができるかもしれない」である。

- (23) 「本文によると、ディープフェイクの技術はどのような形で MRI のスキャンを改善することができるか」

正解はウ「AI の訓練の精度を高めるための映像を制作することによって」。第5段落第3文と第4文が根拠となる。第3文の意味は「医療においてディープフェイクの技術を使うことで、MRI スキャンで腫瘍が発見される精度を向上させることができ、それらを治療しやすくなる」となる。そして第4文は「ディープフェイクの映像はそのような AI プログラムを訓練して、非常に多くの異常を識別することを可能にし、結果としてその長期的な精度を改善することになる」である。

F,G 長文

- (F) 「本文中の下線を引いた単語を見つけ、代わりに用いることができるものとして最も適当なものを選びなさい」

- (24) 「第1段落の fields に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はオ。 discipline には「学問分野」という意味がある。下線部を含む1文の意味は「しかし、隣接する分野から次々と新しいデータが発表され、この狭量な考え方の土台を崩しつつある」である。

- (25) 「第2段落の drivers に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はア。 factor は「要因」という意味である。下線部を含む1文の意味は「基本的に、この総合説が主張しているのは、進化の重要な原動力は遺伝子に還元できないものであり、そのような原動力を進化論事態の中に織り込まなければならない、ということである」である。

- (26) 「第3段落の position に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はウ。 belief は「信念、意見、考え」という意味である。下線部を含む1文の意味は「私たちの立場を支持するデータは日々説得力を増している」である。

- (G) 「次の各設問に対する解答として最も適当なものを選びなさい」

- (27) 「本文によれば、EES を確立する目的は何だったか」

ア 「進化生物学者間の緊張を和らげる」
 イ 「生物学者たちの中で、分野を超えた共同作業を奨励する」
 ウ 「進化は自然選択によって起こるというダーウィンの主張を反証する」
 エ 「遺伝的变化と環境が進化を補完するものであることを実証する」

オ 「進化が遺伝のみに依存していることを実証する理論を開発する」

正解はイ。問われているのは EES を確立する「目的」であるが、それを明確に述べた 1 文があるわけではないので、大きく話の流れを理解して内容を整理する必要がある。

まず、第 1 段落第 2, 3 文では「現在、進化論の主流は、遺伝子の継承と、遺伝子頻度を変化させるプロセスのみに焦点を当てるようになってきている。しかし、隣接する分野から次々と新しいデータが発表され、この狭量な考え方の土台を崩しつつある」と述べられ、進化論をめぐる既存の枠組みに変化が求められている、という背景が説明されている。そして、続く第 1 段落最終文では、「生物が成長し、発達する過程を進化の原因として認識するという、別の進化観が生まれつつある」と述べられ、筆者を含む研究者たちの唱道する考え方が示される。

第 2 段落第 2 文では、「それ以来、私たちは学際的なチームのメンバーとして、総合進化説の拡張 (EES)と呼ばれるより広範な枠組みを開発し、その構造、仮定、予測を肉付けするために集中的に取り組んできた」と述べられ、設問で示された establishment の経緯が説明されている。その EES という立場をとった場合の進化についての考え方は、第 2 段落第 5 文以降に示されており、「生物は発達過程において構築されるものであり、単に遺伝子によって『プログラム』されて発達するのではない」し、「既存の環境に適応するために進化する」のでもなく、「環境と共に構築され、共進化し、その過程で生態系の構造を変えていく」とある。

こうした立場を明確にして、EES を確立した筆者たちの考えの背景に迫るのが、第 3 段落第 2, 3 文であり、それらの意味は「特に発生生物学だけでなく、ゲノミクス、エピジェネティクス、生態学、社会科学など、関連する学問分野からも強い支持が寄せられている。私たちは、進化生物学がこうした他の学問領域から十分な恩恵を受けようと思うなら、見直しが必要であると主張している」である。これらの記述から読み取れるのは、進化生物学には、他の学問領域と垣根を越えて、ますます増えつつある新たな知見を組み込んだ考え方を取り入れていく姿勢が求められる、という発想である。これに最も近いのが選択肢イである。

EES の考え方に従えば、エの選択肢も妥当に思えるのだが、遺伝的变化と環境が進化を促す要因である、という考え方は従来からある総合説といってよいので、EES を確立する「目的」とは考えにくい。

- (28) 「次の記述のうち、本文中に与えられた情報によって、最もよく裏付けられているものはどれか」

ア 「EES はダーウィンが最初に提唱した」
 イ 「EES は科学者の中で一致して受け入れられている」
 ウ 「EES はダーウィンによってわずか 6 年で考案された」
 エ 「EES は進化の過程に新たな洞察を与える」
 オ 「EES は進化論の主流として確固たる地位を築いている」

正解はエ。第 2 段落第 4 文が根拠となる。その 1 文の意味は、「私たちは、EES が進化の仕組みに新たな光を当ててくれると信じている」である。

- (29) 「本文によれば、進化生物学の現在の考えに見直しが必要なのはなぜか」

ア 「現在の理論は限られた視点に基づいている」
 イ 「現在の科学的証拠はダーウィンの理論を支持していない」
 ウ 「あらゆる科学理論の修正は 6 年ごとに必要である」
 エ 「新しい世代の科学者は、それぞれのやり方で科学に貢献しなければならない」
 オ 「ダーウィンは遺伝子の存在に気づかずに、自然淘汰による進化の考えを思いついた」

正解はア。設問(27)でも取り上げたように、第 1 段落第 3 文では、現在の進化論の考え方は、「狭量な」と述べられており、また第 3 段落第 3 文では「進化生物学がこうした他の学問領域から十分な恩恵を受けようと思うなら、見直しが必要である」とあり、進化生物学の現在の考えに見直しが必要なのは「視野を広げることが求められているから」と判断できる。

- (30) 「本文によれば、他と比べた時に EES が持つ意義は何か」

ア 「EES のおかげで、進化生物学者は資金を確保できるだろう」
 イ 「EES のおかげで、同僚の研究者間のとげとげしさや非難が和らぐ」
 ウ 「EES は、環境変化が生態系の自然選択をどのように引き起こすのか予測する」
 エ 「EES は、現代の道具を使って、エピジェネティクスが生態系の進化をどのように変えるのか説明する」
 オ 「EES は、初期の総合説がかつて想定していたことを検証し、原因となる要素をさらに追加することで、初期の総合説を拡張する」

正解はオ。第 1 段落第 2 文で「現在、進化論の主流は、遺伝子の継承と、遺伝子頻度を変化させるプロセスのみに焦点を当てるようになってきている」とあり、続く第 3 文及び最終文で、「しかし、隣接する分野から次々と新しいデータが発表され、この狭量な考え方の土台を崩しつつある。生物が成長し、発達する過程を進化の原因として認識するという、別の進化観が生まれつつある」である。ここから、新しい進化論において遺伝子以外に新しく進化の要因を導入しているとわかる。

- (31) 「第 2 段落(P2)の “...organisms are constructed in development, not simply ‘programmed’ to develop by genes” で、筆者は何を意味しているか」

ア 「生物が進化できるのは、遺伝的『プログラミング』のおかげである」
 イ 「遺伝的『プログラミング』は、全生物の自然な進化に欠かせないものである」
 ウ 「生物の進化は遺伝的『プログラミング』だけでは決まらない」
 エ 「遺伝的『プログラミング』は、生態系の構造を変えるために生まれつき備わる仕組みである」
 オ 「遺伝的『プログラミング』は、生まれつき備わる作用であり、これにより生物は既存の環境を維持することができる」

正解はウ。問題で言及されている箇所は第 2 段落第 5 文に含まれている。その 1 文の意味は「私たちは、生物は発達過程において構築されるものであり、単に遺伝子によって『プログラム』されて発達するのではないと考える」であり、意味が最も近いのはウである。

H 長文

- (32) 「エアバスのエンジニアたちは、ミュンヘンでクリーンエネルギーの将来を形成し得るどんな技術を証明したか」

ア 「日光を変換しエネルギー送ること」
 イ 「太陽光エネルギーを用いて巨大な人工衛星を打ち上げること」
 ウ 「宇宙空間で宇宙船格納庫を使うエネルギーを生み出すこと」
 エ 「タービンを利用し宇宙船格納庫用のマイクロ波を生み出すこと」
 オ 「日光を生み出すために地上に設置したソーラーパネルを用いてマイクロ波を収集すること」

正解はア。第 1 段落第 2 文が根拠となる。その意味は「彼ら（エンジニアたち）は、ソーラーパネルを用いて日光を集め、それをマイクロ波に変え、そして宇宙船格納庫中にエネルギーを送った。そこでエネルギーは街の模型を照らす電気へと変換された」である。よってアが正解だとわかる。

- (33) 「第 2 段落(P2)で議論されている 2 つの主要概念は何か」

ア 「古い考えと新しい考え」
 イ 「古い科学と工業技術における問題」
 ウ 「クリーンエネルギーと技術的方法」
 エ 「現代の発展と十分な資金」

オ 「伝統的な太陽電力と宇宙空間の太陽電力」

正解はエ。第 2 段落第 3, 4 文が根拠となる。その意味は「クリーンエネルギー、宇宙へのより安価なアクセス方法、そして技術の改善に関する差し迫った必要性が最終的にそれを変えることができるであろう、と宇宙太陽電力の提唱者たちは信じている。『誰かによって投資が行われれば、それは発展するであろう』」である。“improvements in technology” が選択肢エの“modern developments”に対応し、“Once someone makes the commercial investment, it will bloom.”が“sufficient funding”の箇所に対応する。

- (34) 「第 3 段落(P3)によると、宇宙から大量の電力を地球に送ることに関してどのような安全性に関する問題があるか」

ア 「地球上に電力網を過剰に設置すること」

イ 「マイクロ波にさらされて害を受けるリスク」

ウ 「転送中に生じる電力消失の高い可能性」

エ 「世界の伝達網を混乱させてしまう可能性」

オ 「人工衛星の実行可能な列を維持する難しさ」

正解はイ。第 3 段落第 1 文(and 以降)が根拠となる。and 以降の意味は「何ギガワットもの電力を地球に送ることが効率的に、さらには人ではなく鳥を焼き殺すことなく行うことができるのであろうか、といったことを含む無数の問題が残る」である。電力をビームのように送りこむことで生じる可能性のある安全上の問題と考えれば、イが正解とわかるであろう。

- (35) 「第 4 段落(P4) と第 5 段落(P5)によると、宇宙太陽光発電の歴史に関して、実用化する上での主な課題は何であったか」

ア 「太陽光発電電池の効率性を高める」

イ 「技術的な複雑さと高いコスト」

ウ 「宇宙局と政府の関心の欠如」

エ 「宇宙で集められたエネルギーの蓄積と回収ができないこと」

オ 「宇宙に太陽光パネルを建設し輸送することの困難」

正解はオ。第 4 段落前半で NASA がスペースシャトルに太陽光発電のための資材を搭載して、それを宇宙飛行士に組み立てさせる計画を立てたが、巨額の費用がかかるためにこの計画が棚上げされた経緯が語られ、同段落後半では、軌道上にある衛星を修理し燃料を補給するために開発されたロボットを巨大な太陽電池アレイの建設に向けること可能になったことが示されている。第 5 段落では太陽光発電のための衛星を打ち上げるにはコストもかかり、軌道上で大規模な建設場所も必要であることが述べられているが、Space X などの民間企業が宇宙開発事業に進出したことからコストの問題がクリアされる可能性が出てきたと述べられている。これによって、太陽光発電の当面の課題は、宇宙で太陽光発電パネルを建設し輸送することの困難さといった技術的なものであることが明らかになった。したがって、オが正解となる。

- (36) 「本文によれば、宇宙太陽光発電は地上での太陽光発電に比べてどのような利点があるか」

ア 「建設費用の低下」

イ 「維持と修理の簡単さ」

ウ 「環境への影響の増加」

エ 「継続的な発電能力」

オ 「エネルギー貯蔵システムの必要性の減少」

正解はエ。第 6 段落第 3 文が根拠となる。その 1 文の意味は「地上での太陽電池アレイの方が効率は良いが、それは太陽が出ているときのみである」である。ただし宇宙太陽光発電が、太陽が出ているときのみという条件を満たす必要がある。この点は第 1 段落最終文で述べられ、その意味は「雲からも夜間からも解放された高い軌道で 24 時間発電し、その電力を地球に送ることができる可能性がある」である。以上からエが正解だと判断できる。

(37) 「第7段落(P7)の文章構成上の目的は何か」

- ア 「太陽光パネルが、エネルギー源として自らの軌道をいかに使用しているのか説明するため」
- イ 「光を反射させることで人工衛星に備え付けられた太陽光パネルを最大限活用するにはどうすればよいのか説明するため」
- ウ 「太陽電池アレイを地球の方向に向けることがより効率的である理由を説明するため」
- エ 「手動制御によるお椀型構造体の使用に関する以前の研究を説明するため」
- オ 「いわゆる『サンドイッチ型パネル』の使用によってもたらされる特有の利点を説明するため」

正解はイ。第6段落では、サンドイッチ型パネルの有効性が述べられている。続く第7段落冒頭で、このサンドイッチ型パネルの欠点(太陽光パネルが太陽に向かない場合があること)が指摘されており、その欠点を克服するための方策を述べるのが、この段落の(文章構成上の)目的だと考えられる。第2文でミラー使用が、最終文では“a bowl-shaped structure with thousands of individually steerable thin-film mirrors”「何千枚もの個別に制御可能な薄膜ミラーを備えたお椀型構造体」とより具体的な構造体が紹介されており、光を反射させることで太陽光パネルを最大限活用し、その弱点を克服する方策が述べられている。

(38) 「宇宙からのビーム電力に関する現在の限界のうちの一つは何であると、第8段落(P8)において述べられているか」

- ア 「1kmを超えるビーム電力」
- イ 「多くの国による競合」
- ウ 「地上における効率的な発電」
- エ 「発電設備が安全に宇宙空間を飛ぶことが可能かどうかについての疑念」
- オ 「現在の送受信機による入力電力の約50%におよぶ損失」

正解はオ。第8段落第3文が根拠となる。その意味は「しかし、現在の送受信機は入力電力の半分を失っている」である。

(39) 「宇宙から放たれる太陽光エネルギーを集めるのに用いられる装置に関して、第9段落(P9)において、どんな点が述べられているか」

- ア 「その装置は、並外れた大きさである」
- イ 「その装置は、相当なギガワットの電力を送る」
- ウ 「その装置は、地球上の生命にとってかなり危険である」
- エ 「その装置は、農業資源として利用可能である」
- オ 「その装置を建設するには、かなりの財源が必要である」

正解はア。第9段落最終文が根拠となる。その意味は「受信アンテナは安価に建設できるが、『多くの敷地が必要だ』とジョーンズは言う。とはいうものの、その下で作物を育てることもできるし、沖に設置してもよいと彼女は言っている」である。よって、大きな敷地に設置される受信装置は巨大であることが推測できる。直前の第9段落第2文より、その受信装置を巨大にするべき理由として、宇宙船、飛行機、人、鳥がビームを浴びる量をごく少量に抑えるために、ビームの幅を大きくすることが求められていることがわかる。

講評

形式：近畿大学 2024 年度前後期入試と同様。

内容：

- A～C** [文法・語法・語彙] (やや難) 昨年度前期試験と(C)の英文の語数は変わらないが、問われている知識の難易度はやや高め。昨年度と同様、文章内容に関しても生物に偏ることなく、多岐にわたるテーマが出題されている。
- D～E** [長文] (標準) 「ディープフェイクの問題点と考えられる利点」に関する英文。(D)の同義語選択は昨年同様やや難しいが、(E)の内容一致は取り組み易い。
- F～G** [長文] (やや難) 「総合進化説の拡張」に関する英文。あまりなじみのない話題であり、その場で情報を整理して読み解く力が試される。(G)の設問には一部判断が難しいものが含まれる。
- H** [長文] (標準) 「宇宙太陽光発電システムの現実的運用可能性」に関する英文。文章量は大問中もっとも多いが、設問は段落順に設けられている。とはいえ、正解を絞り込むには精緻な読解も求められる。

形式面では昨年度と大きな違いはないが、分量は昨年度より若干減少した。長文の設問に関しては同義語選択問題が依然として難化傾向にある。とるべき設問でしっかり得点できるかどうかを鍵を握る。目標は 60%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

医学部進学予備校 **メビオ**
☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校
heart of medicine **YMS**

医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校

☎03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>

☎0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



登録はこちらから

諦めない受験生をメビオは応援します！

後期入試もチャンスあり！

医学部**後期**入試
ガイダンス **参加無料**

近畿大学
医学部

新梅田研修センター
英進館メビオ校舎

2/11(火・祝) 14:00～14:30 医学部進学予備校メビオ校舎

詳細やお申込は
こちらから



詳しくはこちら

後期模試 2/13

医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル ☎0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。
【受付時間】9:00～21:00 (土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分